

## 鬼滅の刃 第1期 第12話

タイトル: 猪は牙を剥き、善逸は眠る

キャラリスト:

竈門 炭治郎、我妻 善逸、響凱、嘴平 伊之助、清、正一、てる子、鱗滝 左近次、鬼舞辻 無惨、舌鬼、角状鬼、カラス

Japanese script from Ohys-Raws (kitsuneko.net)

English translation from GogoAnime subtitles (gogoanime.tv)

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

---

伊之助           いくぜ...猪突...猛進！

                  ううっ！

響凱            腹立たしい...腹立たしい！

伊之助           うっ！

炭治郎          うわっ！

てる子          きゃあ！

炭治郎          てる子！家具につかまれ！

伊之助           ううっ！

炭治郎          うっ！

伊之助           ふっ！

炭治郎          そいつは異能の鬼だ！むやみやたらに斬りかかるのはよせ！

伊之助          ハハハハハ！



伊之助 うっ！

響凱 腹立たしい...小生の家で騒ぐ虫ども！

炭治郎 あっ！

伊之助 うおっ...ううっ！

炭治郎 うっ...。

てる子 うっ...。

伊之助 ううっ...。

てる子 きゃっ！

伊之助 ハハハハ！ウハハハ！部屋がグルグル回ったぞ！面白いぜ！面白いぜ～！ハハハハ！

炭治郎 ハッ！くっ...。

伊之助 おっ？

炭治郎 人を踏みつけにするな～！

伊之助 うおっ！

んんっ...。

なんだ、てめえ...。

炭治郎 こんな小さい子を踏むなんて、どういづもりだ！

伊之助 ハハハハハ！イッヒヒ！いいね、いいね！人間に投げ飛ばされたのは、初めてだぜ！

はっ！

炭治郎 (考え)なぜ俺に向かってくるんだ？鬼殺隊じゃないのか？

伊之助 俺の刀は痛いぜ。坊ちゃんが使うような刀じゃねえからよ。

ちぎり裂くような切れ味が自慢なのさ...。

炭治郎 やめるんだ！そこに鬼がいるんだぞ！

伊之助 知るか！はあっ！

響凱 虫め...消えろ！死ね！

伊之助 うおっ！

炭治郎 ハッ…。

(考え) 突然畳が裂けた…鼓の音と同じ速度で…獣の爪痕のような形！

(考え) 右回転…。

(考え) 左回転！

響凱 虫め…。

虫けらどもめ！

伊之助 うわあっ！

あっ…ああっ…。

炭治郎 (考え) だんだん分かってきたぞ！

ハッ！

(考え) また部屋が変わった！

(考え) でも、どういうことだ？

てる子 ハッ…。

炭治郎 (考え) さっきのあの鬼は、鼓を打っていないぞ。

(考え) この屋敷は、複数の鬼のにおいがする。別の鬼も鼓を持っているのか？

(考え) それで…

(考え) … 血のにおいだ。

てる子 ううっ…。

炭治郎 あっ…大丈夫だから。俺の後ろにいるんだよ。

てる子 うん…。

炭治郎 ハッ！

(考え) また人が食い散らかされている！

てる子           ど...どうしたの？

炭治郎           大丈夫だよ。鬼はいないから。

さあ、向こうへ行こう。

振り返らずに、まっすぐ、前を向いて。

(考え) これとは別にもう1つ...今まで嗅いだことのない、独特な血のにおい。

(考え) 出血量は少ないみたいだ。

清                イイツ！

善逸            ああ...ああ...ああ...

正一            んー...

善逸            うう...うう...うう...

正一            すみません、善逸さん...

善逸            ひゃあああ～！

う...うおおお！

正一            あっ！うっ...

善逸            合図...合図...合図...合図をしてくれよ！話しかけるなら急にこないでくれよ！心臓が口から  
まろび出るところだった！

正一            すみません...

善逸            もしそうなら、まさしくお前は人殺しだったぞ！分かるか！

正一            ただちょっと...汗、息、震えがひどすぎて...

善逸            なんだよ！俺は精いっぱい頑張ってるだろ～！

正一            いや、申し訳ないんですけど...俺も不安になってくるので...

善逸            やだ！ごめんね～！

でもな、でもな！あんまりしゃべったりしていると、鬼とかにほら...見つかるかもだろ！

だから...極力静かにしたほうがいいって思うの、俺は！どう？！

正一 ああっ...。

善逸 えっ？

舌鬼 グフッ...グヒ...子供だ。舌触りが良さそうだ。

善逸 ほらご覧！

正一 ああ...。

善逸 出たじゃない？！出たじゃない？！

善逸 いや～！来ないで～！来ないでくれ！やめて～！

舌鬼 グフッ...。

善逸 おおお...おいしくない！きつとおいしくないよ、俺！

真面目な話！この子は痩せこけてますし、カスカスでまずいから～！

舌鬼 ヘッヘッへ...食ってみねえと分かんねえだろ！

善逸 ぎゃああ～！

正一 うっ！

んっ...。

善逸 何それ！舌速っ！水がめパカッて！

舌鬼 ウウウッ！

善逸 ありえないんですけど～！

ぎゃああ～！

正一 うっ...善逸さん！立って！

善逸 はああ...膝にきてる！恐怖が8割膝に～！

正一 そんなこと言ってる場合じゃないです！

善逸 おおお...俺のことは置いていけ！逃げるんだ～！

正一 そんなことはできない！

善逸 ハッ！

(考え) なんていい子なんだ！こんなおびえた音になってるのに！

(考え) 俺がなんとかしなくちゃ！

正一 ううっ...。

善逸 (考え) 俺が守ってあげないと、かわいそうだろ！享年がひと桁とかあんまりだぞ！

(考え) でも俺はすごく弱いんだよ！

正一 立って！

善逸 (考え) 守ってあげられる力がないの！でも俺が守ってあげなきゃ...。

舌鬼 エツヘツヘ...お前の脳髓を耳からじゅると吸ってやるぞ！

善逸 あっ...。

正一 善逸さん！善逸...あっ！

(考え) 寝ている...。

舌鬼 ヘヘヘツ...なんだ、そいつは？

正一 ううっ！

あっ...ああっ...ハツ...。

舌鬼 ヘツヘツヘツヘ...ヘツヘツヘ...。

正一 あっ...ああっ...。

舌鬼 死ね！

正一 わあああ！善逸さん！起きてよ～！

舌鬼 うっ！

正一 ああ…。

舌鬼 うっ…ぐうっ…。

(考え) な…何だ、この音？こいつ…気配が変わった…。

正一 善逸さん？

善逸 雷の呼吸、壱ノ型…霹靂一閃！

舌鬼 ああっ…！

正一 あっ…。

善逸 んがっ！

えっ？

ぎゃああ～！死んでる～！急に死んでるよ～！

何なの？もう嫌だ！

何これ？何これ？やだ…。

正一 ああ…。

善逸 ハッ！

正一君…まさか…。

くっ…ありがとう～！助かったよ～！この恩は忘れないよ～！

こんなに強いなら最初に言っというてよ～！うわ～ん！

正一 えー…どういうことなの？

善逸 何か言った？

正一 えっ？いや…。

ああ…ううん、何でもない。行きましょうか？

善逸 うん…。

伊之助 チッ…また飛ばされた！

3日前からずっとこんな調子だ！ちくしょう！

こんな狭っ苦しい建物の中を進むのは…得意じゃねえんだよ、俺は！ぬうっ！

うっ…。

ううっ！

ああ？

角状鬼 よけたな。随分生きのいい人間だ。

おめえの肉はえぐり甲斐がありそうだ。

伊之助 ううっ…うううっ…。

我流獣の呼吸…。

的がデカいと、切り裂き甲斐があるぜ！

角状鬼 ホホッ！正面から向かってくるとはいい度胸…。

だああっ！痛～い！

伊之助 アハハハ！屍をさらして、俺の踏み台となれ！

参ノ牙！喰い裂き！

おらあ！

ハハハハハハ！

猪突猛進！猪突猛進！

響凱 稀血…稀血…あれさえ食えば…。

50人...いや、100人分...稀血の人間をもっと探して食うのだ。

そしたら...

... 小生はまた十二鬼月に戻れる！

鬼舞辻 (過去) 響凱。

響凱 (過去) ああつ...。

鬼舞辻 (過去) もう食えないのか？その程度か？

響凱 (過去) いいえ...いいえ、まだ！

(過去) ああつ！

(過去) お...お待ちください！あと少し...！

鬼舞辻 (過去) もういい。数字を剥奪する。それがお前の限界なのだ。

響凱 (叙事) 人間を食うほど強くなれる。そうして素質を認められれば、鬼舞辻様に血を分けていただけた。

(叙事) あのお方の血の力はすさまじかった。小生は以前と比べ物にならぬ度合いで強くなり、十二鬼月として認められ、これからも人を貪り食い、なお一層強くなれるのだと信じていた！

(叙事) 信じていた...。

てる子 ハッ...清兄ちゃん！

清 あつ...ハッ！

てる子 お兄ちゃん！お兄ちゃん！

清 てる子！

てる子 あつ...。

清 その人は？

炭治郎 俺は竈門炭治郎。悪い鬼を倒しに来た。

清 あつ...。

炭治郎 さあ、傷を見せて。独りでよく頑張ったな。

清 うっ…。

てる子 お兄ちゃん…。

炭治郎 あっ…へっ…。

この傷薬はすごいんだぞ！俺の先生がくれたものだ！

俺の先生は、天狗のお面をかぶっててな？

清 天狗？ホント？

炭治郎 ホントだよ。先生のこの薬はすごくて、すぐに効き目が出るんだ。

よし、出来た！

どう？痛みが引いたろ？

清 うん！

炭治郎 ここで何があったか、話せるか？

清 ハッ…うっ…。

化け物に攫われて…く…食われそうになった…。

そしたら…どこからか、別の化け物が来て…こ…殺し合いをし始めた…。

誰が俺を…く…食うかって…。

そ…それで…体から鼓が生えているヤツ…あいつがほかのヤツにやられたとき…この鼓を落とすから…。

それを拾ってたたいたら、部屋が変わって…なんとか今まで…。

炭治郎 あっ…。

鼓が生えているヤツ…あいつか…。

あいつは、稀血…そんなことを言っていたが…。

清 ハッ！ そうだ！ そう…俺のことをマレチって呼ぶんだ！



清、てる子 あっ…。

炭治郎 もう少しだけ頑張るんだ。できるな？

清、てる子 うん…。

炭治郎 えらい！強いな！

行ってくる。

たたけ！

響凱 虫けらが…いまいましい！

炭治郎 くっ…。

んっ…。

あっ！

(考え) 右肩の鼓は右回転！

(考え) 左は左回転！

(考え) 右脚は前回転…左脚は、後ろ回転！

(考え) 腹の鼓は、爪の攻撃！

うっ！

(考え) ぐううっ！速い！回転と攻撃の速度がすさまじい！

(考え) 珠世さんに手当てをしてもらっているが、ケガは完治してない！

(考え) 勝てるのか、俺は？そのケガが、痛くて痛くてたまらないんだよ！

(考え) 俺はもう、ホントにずっと我慢してた！善逸を女の子から引き剥がしたときも…声を張ったときも、すごい痛いのを我慢してた！

(考え) 俺は長男だから我慢できたけど…次男だったら我慢できなかった！

くっ…。

(考え) ふんばったりすると、折れてる所がきしんで、力が入らないんだ！

ハッ！

(考え) あの鬼の...爪のような痕がつく攻撃...あれが怖くて向こうに近づけない！

(考え) 万全の状態じゃないから、間合いの内側に入ろうと突っ込んでいったとき、痛みが走って足がもつれたら...俺は輪切りだ！

くっ...

(考え) ケガのせいで悪い想像ばかりしてしまう！

(考え) 鱗滝さん！

鱗滝

(過去) 水はどんな形にもなれる。

(過去) 升に入れば四角。瓶に入れば丸く。時には、岩すら砕いてどこまでも流れてゆく。

炭治郎

(考え) そうだ...そうだ！水の呼吸は、拾種類の型がある！

(考え) どんな敵とも戦えるんだ！

(考え) ケガをしているなら、それを補う動きをしろ！どんな形にもなれる！決して流れは止まらない！

(考え) 今の俺は、骨だけでなく心も折れている！

善逸

(想像) え～ん！折れてる炭治郎じゃダメだよ～！

炭治郎

はい！ちょっと静かにしてください！

(考え) まっすぐに前を向け！己を鼓舞しろ！

(考え) 頑張れ、炭治郎！頑張れ！

俺は今までよくやってきた！俺はできるヤツだ！

そして今日も...これからも...折れていても...

響凱

ウウウツ...

炭治郎

...俺がくじけることは、絶対はない！

